磐城新聞（十一日夕刊）

休刊 大祭第一第三日曜
定價 壹枚二錢、壹ケ月五十錢、郵税十錢
廣告料 二行五十錢指定廿錢增
發行兼編輯印刷人 遠沼龍輔
發行所 福島縣平町田町拾六 磐城新聞社 電話五六四番

不統一の根元

わかみや生

◎擧國一致を特徴として居た日本民族の傾向は、極めて短期間に不統一の傾向となつた。不統一は今や日本である。地主と小作との不統一、企業者と勞働者との不統一、店主と店員との不統一、海員の不統一、黨員の不統一、――此の不統一の日本的傾向は、今や內閣其物の不統一をさへ、街行く人の口の端に上せるに至つた。

◎出兵是非の不統一は與黨と反對黨との一應は恕すべき源平的不統一であつた。滿蒙禍亂を主題とした對策上の不統一に至つては、首相と閣員との甚だ念の入つた不統一である。此の不統一は或は統一に至までの單なる過程上の波瀾に止まり、のどして、寧ろ不統一の名を値するに不足であるかも知れない。それにかく、その不統一の暗を一掃するに適した公平なる態度の表示を缺く事は遺憾である。

◎滿蒙主題の對外的不統一は入念的大政取りの一影響あり――も緊急勅令に對する部內の不統一に至つては沙汰限りである。猛然たる反對黨、樞密を尻目にかけて逆まうといふ政府自體が、部下の小役人、政黨をなして問題を論ずなどは何ぞさまだ。

◎內閣と部下、不統一には、或は一種の政略に含まれて居ると觀ることも出來、其の政略を全く離れた教育の世界に於てさへ、その最大特徵が現に教授團の學生間の反抗的不統一なることは此の日本の不統一の傾向、尋常ならざるといふ何よりの證據である。此の教育界の不統一は容易に家庭の不統一を想像させる。

◎親子の喧嘩、夫婦の不和、不統一は非常な勢ひを以て全日本の家庭を襲ふ。家庭の最大特徵であつた教育天職が學校に委讓されて學校其物が喧嘩の問屋となつたときに、人間の性格を崩壞するに至るのは、當然の成行きである。即ち日本は不統一だ。その不統一の筋は家庭の尖端から、內閣の尖端まで通つて居る。此の一般的不統一の一般的原因は何である乎。

◎孔子曰く、我が道一以て之を貫くと獨り倫理の最高標準だけが一貫的であるに止まらず、その標準破壞の原因も亦一貫的だ。日本の不統一は、日本文化の傳統的、西洋文化、傳來的の不統一、その總根元があるのである。

◇西洋文化の傳來は大體に於て無標準であつた。否、日本の先覺自らその無標準を意識がなかつた。彼等は採長補短といふ純粹の無標準を最高の標準と心得て居たのである。何が長處であり、何が短處であるかの標準の決定なしに直に採長補短といふことは盲目者の妄語である。日本不統一の根元は則ち此の盲目的態度に在るのだ。

和歌

小川地方山水美禮讃

門下　東谷しゝ子

今し旭は磐城富士をばかゞやかに彩りながら空にかゝれり

夕づく日閼伽井の岳の山脈に落ると見えて雲映ゆる也

二つ箭の峰峙ちて水青く是の山里は畫に似たる哉

吉岡獨歩

夏井川巖根こゞしき江田峡に堰かれ落る瀧津瀬の音

堰かれたる夏井川原は宛然に湖のごとくなり源門のほとり

それと聞谷らほらし小玉川水玉轉ばせゝらぎの音

明日の吉凶

舊曆四月廿五日　新曆六月十二日

▲一白　思惑外れ物事意の如くならざる日增資も凶
▲二黑　野心を起さず遲々たりとも本業を守るべし
▲三碧　一こくでは世の中は通れぬ日穩訓なるがよし
▲四綠　鈍底は過ぎたりともなほ陰忍し居るべき日
▲五黃　常業以外の事に手を出さず成を守るべき日
▲六白　多少障碍ありとも携まざれば思ふ所に達す
▲七赤　口舌さへ愼めば何事も結滯なく上首尾の日
▲八白　氣を崩さず家內一致して働くべし
▲九紫　地の理人の和を得たる日相談ごと皆調ふべし

講談　闇に閃く男達

（111）　高田涙川作　尾崎雪嶺畫

主膳うつかり

源左衛門は腕を組んで思案にふけつた。

「佐々木の旦那、先刻からお話し申しました通り、今日のけんくわは嵐山の五太夫と頼政幸次の兩人が預かり兩三日中になんとかけりをつける筈ですが、けんくわは誰が見てもわちの身內は七分まで負けてゐる。だから、さて、こつちの滿足するやうな仲裁はできつこねえそれじや仲裁を待つも馬鹿々々しいから其武藝者をやつつけてしまつたらどうでせう、いく相手が強くも暗夜のつぶては防ぎ得ぬことわざ通りだまし討ちにしたらどうでせう、そして仲裁が出來喰はねば、と出入りをやり直しの二人さへゐなけりやア、負けツこないですから……」

源左衛門は窮余の策を考へた。

「いかにもそれはよい分別だ。しからばその方はすぐ宅へ馳り大和田主膳と堀內小源太と相談をしてさつそくそ

ぱね」わつちの子分をつけてやるから、どうかためねさん二人じやつゝけてたくんなせえ」

「よろしい承知いたした、我々兩名參れば大丈夫でござる、さつそく仕度をして出かけますから予分もしつかりしたものに仕度をさして下さい」

「合點〱、天神の太造と辨天の佐吉をやることにしやせう」

主膳と小源太は一間へ入り仕度をする

「それ、は親分、わつちはこれから龜山へけわり、變つたことあればすぐにしらせしやう」

平吉も座を立たんとした

「さうか、そりやアどうご苦勞であつた、こゝは少

身仕度をしてゐる小源太は主膳に相談をもちかけた

「イヤ〱そうではなからう、もしそれであつたにせよ石川正春とてヨモヤ鬼神ではあるまい、石川ならばなほさらのこと、得意の半弓で射止めるまでのことぞ萬が一ちにも討もらせば委細打明け、佐々木佐太夫殿の手にすがりいづれへか姿を隱せば大丈夫決して心配することはありますまい」

主膳は松代の事件が正春に首を狙はれて居ることを知つてゐるから小源太

の手段を運べ逃がしては大變だ、又それがためゴタ〱ができるやうな事あれば萬事は拙者が引受てやる

佐々木佐太夫は源左衛門の意見に同意した

「有難うございまする、こういつてゐる間に時刻たくれては一大事、それぢやア旦那樣、これでごめんを蒙りまする」

源左衛門は白雲の平吉をつれて急ぎ自宅に歸り、さつそく大和田主膳、堀內小源太を招いだ

「貴はたふたり、この平吉がけえつての話しではこう〱かやう、それにつけ、どういふやつか知らねど遺恨重なる長吉を助ける二人の武士、どうしてもやつてしまわなきやア虫が承知し

くねえが小仲に持つてけねの心配を事もなげに打消した

りゝねね」

源左衛門は平吉に十兩を與へた

「有難うございまする、いづれ又た目にかゝります」

白雲の平吉はそのまゝ龜山へ引返した

「大和田氏、先刻白雲の平吉が申せし武士は、かねて貴殿にも話せし通り、江戸表に於て討ち損じたる石川正春らしく考へる、あの石田元右衛門が拙者をたづね參り味方する如く見せかけ寢返りうつたるも全く石川の圖からひではあるまいかと存ずる、前後の事情より推すと、江戸表に於て石川のために不覺をとり、今は同人の爲に働きをるものと見なければならず、どうも

廣告

心配ゴ無用！

ドンナに惡性頑固な慢性淋病も本劑の强烈な殺菌力で尿道の奥深く侵入せる淋菌を見事に滅殺しウミも痛みもケロリと治療す 今すぐ御服用を……

淋病最新藥 トリックス

輕症用 一圓・二圓　重症用 三圓・五圓・十圓

（說明書三錢郵券封入請求す）

平町五丁目角　特約店　山野邊藥局

化粧くづれのない

固煉白粉

一　汗で化粧くづれにお困りの方は、是非ホシ美固練白粉をおつけ遊ばせ。

二　ホシ美固練白粉は、化粧くづれのない上にノリ、ノビがよく、化粧榮のする特徴を有つて居ります。

三　このホシ美固練白粉こそ、皆様の御滿足を購ふことの出來る品でございます。

ホシ美固煉白粉

東京　星製藥株式會社　大阪

內科、小兒科（院長毎日診療）
院長　醫學博士　難波睦
內科部長　粟野省三
外科一般花柳病科　外科部長　醫學士　氏家憲介
產婦人科　產婦人科部長醫學士　五十嵐雄二
藥局　藥局長　吉本孝平
本院主事　賀澤忠治
電話七二番

獨逸シーメンス、ユニバーサル、ヘリオドル
最新X光線裝置
五月十日ヨリ診療開始
主任　醫學博士　難波睦
入院自炊ノ便アリ
磐城共濟病院　平町　電話六四一番
看護婦募集

平町紺屋町　吉田眼科醫院

石炭と「コークス」
煙ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭ト「コークス」
灰ノ少ナイ夏向キノ理想的石炭ト「コークス」
物ハ試メシ一俵御使ヘ下サイ
品質本位ハ當店ノ信條デス
石炭正味十貫目　金六十五錢
平驛前　阿部石炭商店
電話一三七番へ…直グ御屆致シマス、

內科。外科。婦人科。小兒科。花柳病科。
磐城病院
平町田町本通り
入院隨時（電話一一四番）

平町郊外關ノ上
土木建築請負　強口唯七郎
電話四〇一番
一砂利、砂は御用命あり次第多少に不拘迅速に御屆けいたします

營業品目　絹糸、絹紡績　綿糸、染糸、組紐　漁網糸、人造絹糸　カタン糸、輸出用加工糸　與綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社　藤掛商店
電話浪花三五一番　振替東京三三四〇番
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
小店員募集
十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方磐城新聞社御出で下さい。委細面談

移轉御披露
店舖擴張の爲め左記に移轉いたしました新鮮な優秀品を澤山取り揃へ御披露の爲め特に勉强いたします。
平町四丁目横通り　農工銀行脇向へ
根本茶店
電話（二一七）

商標登録
釀造元
福島縣平町　山崎合名會社
電話（營業部一〇番　釀造工場二七番）　振替東京一九七五五番
東京支店　上野車坂町四三
電話下谷五七二三番　振替東京六八三二三番

赤心堂病院
平町田町（電四七五）
外科 泌尿器科　新妻由五郎
產婦人科　野秋善直
內科　小林四郎
藥局X光線　木下寅市

庭球王國の夢に醉ふ
磐陽庭球界に凋落の色濃し
無人の荒野を行くが如き
猛威極まりなき日立軍の强襲に
夢破れたる磐炭と全平

東北の庭球王國と誇る磐陽庭球界今シーズン劈頭第一回の大試合は隣縣歡球界の覇者日立クラブの挑戰に依り庭球王國を代表する磐炭クラブ並にオール平の兩チームは昨十日午前十時から湯本町天王崎コートに此れを迎へて決戰先ず磐炭軍と日立軍との間に戰火蓋は切られた

日立軍		磐炭軍
石川 小笠原	4―1	松本 猪狩
◎同	4―1	筒井 福島
西宮 滑川	1―4	田村 國府田
秋葉 鎌田	4―3	同
◎同	4―0	佐藤 宇野
相馬 中山	2―4	高木 神邊須
中川	3―4	同
◎藤沼 山崎	4―1	岩崎 小山
同	0―4	志賀 緒狩
金子 羽生	4―3	同
同	4―1	高木 神邊須

磐炭軍は必勝を期して同軍の至寶松本を陣頭に立てたが日立軍の精鋭に敵すべくもなく僅に二組を殘して慘敗、次いで午後二時半からオール平軍對日立軍の決戰

日立軍		オール平
石川 小笠原	3―1	高木 吉田
◎同	3―2	堀田 吉田
秋葉 鎌田	3―1	大内 大坪
同	1―3	松本 井上
中川 橋本	3―1	同
◎同	3―0	根本 猪狩
藤沼 山崎 金子 羽生	不戰	二組

オール平軍は大内大坪組根本猪狩組共にストレートで大敗僅に苦冠松本が敵の中堅に一擊を與へたのみ他は殆んど段違の劣敗斯くて期待された磐炭全平兩軍の健闘は無人の境を行くが如き日立軍の猛勢に蹂倒され東北の庭球王國に暗澹たる凋落の秋が訪れた

刈り初めた 麥の作柄
昨年より增收

石城郡下各町村の麥作狀況を聞くと播種以來の天候順調にして施肥後の發育良好に進み最も肝腎な出穂時に於て暴風雨等の被害絕無なりし爲め結實非常によく早生は既に刈り取られたものあり來る二十日前後までは全部收納濟みの豫想であるが前年度に比較すれば幾分の增收を豫想されてゐる

湯本の溫泉は 今尚は涸渇せず
將來の甦生を劃する
委員の調査斷案

附近炭礦の發展から今や根底から溫泉としての形体を破壞され將に遊覽地として敗滅の悲境に陷らんとしつゝある湯本溫泉では同町の將來に備ふべくそれ〲委員を擧げ劃策中の旨既報の通りであるが右に關する委員の報告書によると元來湯本附近の形成地質たる複雜を極め幾多の斷層東西に走り其の間無數の斷層縱橫に錯交し其の斷層內に溢流する溫泉脈は此等錯交狀態により其の湧出狀態も又極めて[illegible]炭礦の[illegible]溫泉噴[illegible]狀態及試錐ボーリング等の結果により其の低下度も又各所高低の差あるを免れず而してその源泉個所に至つては輕率なる推斷をゆるさずと雖も磐城炭礦住吉坑高坂坑に湧出する溫泉は華氏九十度內外にして湯本方域に近づくに從ひ綴坑入山第五坑等に於ては百二十度の高溫湧出個所を見出すことを得るより見れば其の源泉地帶は或は湯本附近の地下ならんとも想像せらる、湯の岳南方にその端を發し湯本溫泉神社附近を通過し開船方面に走る烏館斷層（落差千三百尺）及湯が岳北方に發し上町附近を通過し白坂山方面へ走る白坂斷層（落差五百尺）の二大斷層を中斷して表町を走る本斷層は最も緊要なる一の中樞神經をなすものの如し而してこの三斷層に區劃されたる湯本は以北の多數各斷層の配列と共に一の袋狀の地域にもたとへらるとあつて附近炭礦の堀進に從ひ坑內溫泉噴出と共に次第にその低下を來し湯本町はために溫泉が涸渇したものゝ如く傳へられたが實は單なる水面低下に過ぎずして一大溫泉流は今尚ほ大河の如く地下斷層內に橫流しつゝあつて而も尚現下の低下せる水面は將來炭礦操業の廢止と共に漸次上昇し再び避暑避寒に好適の所謂仙境を現出する見込充分であるといふ事になつた

失はれ行く 若さと戀
惑る男は斯く語る

私はソロ〲もう年寄りの部類に數へらるべき年配となつた。實際徵兵檢査前後には三十歲以上になつた人を見るといゝ爺だと思つてゐた、自分達もこんな爺になる時期があるのだらうかと不思議に考へたこともあつた更に六十歲七十歲の老人を見ては自分達も何年かの後にはこんな醜い殘骸を世の中に曝し物にしなければならないのかと考へて輕い戰慄を感ずることさへあつた、こんな醜い姿を曝さなければならないのなら寧ろ長生といふやつは人間に對する慘酷な苦しみであり侮辱でさへもあるとさへ考へたことすらあつた。

◇

事實戀のためツシと鏡に向ひ萬遍なく顏を塗り立て彼等にのみ許された豊な血と肉体の若さを誇つてゐた戀を知るころの乙女子達に對してすらやがて安達ケ原然たる非藝術的な婆婆ふさげの姿を晒す時代が來る事を思ふて冷りとした事もあつた

◇

老けるといふことは人間に對して絕對不可抗力なものである、だから如何に紅や白粉で塗りかくさうと、美しい衣服を纏つて見たところで到底宿命的に免れる事が出來ないのではあるが總ての人類にとつて年一年と老けるといふ事は何といふ絕望的な遣る瀨なさではあるまいか。

◇

最近自分は體の具合に故障を起すたび毎に一種いふ可からざる淋しさを感ずる無論その淋しさは死を嫌厭する場合の淋しさとは違つた意味の淋しさだ、つまり體の具合に故障の起る度び毎に幾分づゝ失はれて行く若さに對して感ずる一種の淋しさである

◇

私は湯あがりや朝の散歩から歸つて來ては足や腕をさすつて見て何處かに若さが殘されて居はせぬかと、このごろではそればかりが氣になるやうになつた。

昨年より一日早く 今日から入梅
茲四五日はからつゆ
小名測候所の觀測

今十一日からいよ〲梅雨期である、五月中の降雨量も少く最近まで降りさうで降らず昨日あたりは反つて持ち直して草いきれのた天氣に一般農作物は又しても雨乞ひをせねばならぬといふ始末で入梅が却て待ち遠しがられてゐる數日來梅雨期の準備行爲を示すものと思はれた天氣は前記の如くすつかり居直つたので今日の入梅は梅雨らしい片影さへ認められぬ但し小名濱測候所の天氣豫報は「北東の風次第に曇る」とあり時節柄うまい觀測である、同所の觀測によると低氣壓七百五十密は千島にあり南東に移動し同じく七百五十密程度のものは黑龍江江域にあり雷雨を伴ふ低氣壓は臺灣の西部にあつて七百五十三密を示し東北に進行中七百五十九密の高氣壓は東北々海道にあり滯留中であるが差し當り、雨を持つて來る模樣はなくここ四五日中は梅雨らしい鬱陶しい氣配はあるまい、昨年の梅雨入りは六月十二日で今年より一日遲い當日は最高溫度二十七度四分で空模樣だけで矢張り雨はなかつた、しかし本年に於ける一昨九日の最高溫度は二十九度七分、昨十日正午の溫度は二十五度二分であつた

小供達興味惹く 花火遊と水遊
學校を經て家庭に注意
平署警戒に努む

灼熱の夏が近付いた……睡るやうな青葉のかげに片影を殘して春は逝こうとしてゐる、松ケ岡、夏井川畔、尼子、鎌田橋畔等には涼を求めて集ふ人々の群が日増しに加つて行く此の期節、此の頃から小供達の興味を惹く遊戯……それは水遊と煙火遊びである

◇

火玉を街頭に置いて團扇で煽ぎ火、子の飛散するのを喜び大砲花火や地雷火などと言つて路上の通行人を驚ろかしてゐる花火遊は火華から出火の原因ともなる危險性を帶びてゐるだけに小供達の興味を惹く事は勿論最近では小供の群に混ちつて花火に戯れる大人の姿もしば〲見受けられる

◇

水の感觸、毎年幾人かの少さい犧牲者を出だしながらも水遊は小供達にとつてまたない快戲であらう

◇

平署では此の危險な水遊と花火遊を充分取締るべく署員を督してゐるが今年は更に學校當局と連絡を計り兒童の家庭に注意を與へる事となつた

賣掛代持逃
富岡生の男
平署で捕はる

雙葉郡富岡町字滴水生れ當時住所不定高橋榮（一九）は八日午前三時ころ平驛前を徘徊中擧動不審の廉で平署に連行取調の結果同人は去る六日雇はれ先なる東京市淺草區[illegible]町一の瀬惣四郎方から賣掛け代金十四圓を拐帶逃走したことを自白なほ取調中

迎客準備を急ぐ
郡下海水浴場に
早くも間借りの申込
小名濱四倉活況

夏季海水浴期をひかへて小名濱、四ツ倉等の各海水浴場では早くも浴客歡迎準備を初めたが本縣の各海水浴場の夏季にたける氣溫その他は湘南地方の海水浴場と大差なく避暑地としては最も適當しそれに風光も明媚なため最近關西方面にまで相當有名になり逐年避暑客は增加する一方で季節になれば殷賑雜踏を極める有樣で小名濱、四ツ倉の兩町當局でも毎年種々新しい考案を凝らして避暑客に滿足を與へるべく努力してゐるが今年は梅雨もすぎ六月下旬になれば段々避暑客が入り込むので早くも諸般の準備を整へてゐるが夏季になれば例年のことではあるがこれ等海水浴場の家賃、間代等は一躍二倍以上に暴騰するのが例で今年も早くも間借の特約を申込んで來る避暑客が現れ出したから今月末までには空家がなくなる程の盛況を見るであらうと豫想され海水浴場地はボツ〲活況を呈して來た

女流飛行家 チブス
九日隔離さる

平町古川きく（三三）は去月中發病し同町有馬醫師の診斷を受けたが九日腸チブスと確定隔離されたが同女は同町の生んだたゞ一人の女飛行家で町民は心から全快を祈つてゐる

小原支店長 榮轉
後任は山田氏
平支店を擴張

七十七銀行平支店長小原長英氏は此の程本店課長に昇進榮轉する事となつたが後任は本店から山田勇太郎氏來任する事と決定同支店は近く一大擴張を爲す筈で副支店長として三浦幸哉氏も來任する、本店課長に榮進し、小原支店長は[illegible]二ケ年同行支店[illegible]隆盛な[illegible]奮鬪にありと言はれ殊に少壯銀行業者として知られてゐた同氏が平を去る事は各方面から非常に惜まれてゐる

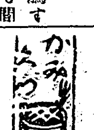
平町獸魂祭

平警察管內で毎年屠殺され食膳に上る牛馬豚は夥しき數に上るがこれ等の牛馬豚は殆ど平屠殺場で屠殺されるので今回平町の肉商その他有志が相計つて同屠殺場に獸魂供養塔碑を建立したのでこれが獸魂祭を十日午後一時から執行した

淺草寺を種に 千餘圓を騙取す
奉納帳を僞造して
平署の手に捕はる

群馬縣高崎市若松町生れ當時住所不定無職榊原正一（三三）は長野縣松本市西五丁目柏木政一郎と僞造して東京市淺草寺の寄附奉納帳を東京市淺草區淺草町で僞造しこれを持つて新潟、福島、宮城、岩手、青森、秋田等の各縣及び北海道方面を持ち廻り數百餘名の寄進者から千圓餘を詐取し數日前平町に流れ込み同樣手段で寄附募集中平署に逮捕されたが餘罪ある見込みで目下引續き取調べ中

かみなり



◆此頃の不景氣にトテモ忙しがつてる藝者がゐる、ハテ變だわと聽いて見たら、ナンの事だ編物で閑がないのだとは、ヤッパリ藝者はイトに緣があるんだね◆それで南京玉を編みこんだイヤに光るオペラバックく帶買入れをブラ下げてる藝者か大分ある。中にはお座敷でお客の煙草を詰めこんで來る經濟家もあるらしいが竹廼家のお鯉はそんな事はない、イカヤと自分からお客に出すのでバカに受けてる、一寸したことでも呼吸だね◆その編物をお客から注文があるので工場の方がいそがしい、いつそ藝者を止してデパカーメントストアといふ妙な店を開いて賣り出さうかと目論見中の頭の好いのもゐる◆折角藝者

書入時を控へて 再燃した乘客爭奪
乘合自動車の競爭
平署手古摺る

平警察署管內における乘合自動車網の發達は素晴らしいものがあり殊に最も有望な平、湯本、平、四ツ倉間の路線の如きいづれも數名の營業者が負ず劣らず多きは十數臺の自動車を運轉して競爭激烈を極めそれがため往々事故の頻發を見乘合の迷惑も一方ならぬので平署ではさきに乘合自動車組合を組織して各營業者間の壓轢を緩和せんと試みたがその當時は各營業者と互に組合規約の申合せを守つて平穩であつたが最近夏季に向ひ乘合數增加につれてまた競爭激烈を加へて來たが今後海水浴期に向へばますます猛烈を極めるのが例で當局でも自動車の危險な競爭は殆ど手古摺つてゐる有樣である

急告

各銀行預金證書の賣買並に一般金儲けの御相談に應じます

平町仲田町
(ト) 駒塲株式店
電話四六五番

社告

營業部員　一名
廿歲以上卅五歲以下の活動家を至急募集す
本人履歷書持參午前中來談あれ

磐城新聞社

內科、小兒科
花柳病科　入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話[illegible]五〇七番

ユラノスケ
純粕取 燒酎 賣出
二合白瓶一本　二十五錢
（從來通り空瓶交換ヲ致シマス）
平町四丁目平驛通り
永山酒造店出張販賣所
電話二〇七番

日東のラジオ
最新高級のラジオ製造販賣
並に部分品提供
當分の間 奉仕的破格値段
三球セット取付共
A 百貳拾五圓
B 百圓
C 七拾圓
御用命次第店員をお伺ひ致させ懇切御相談に應じます。
平町白銀町
日東商會
電話四二八番